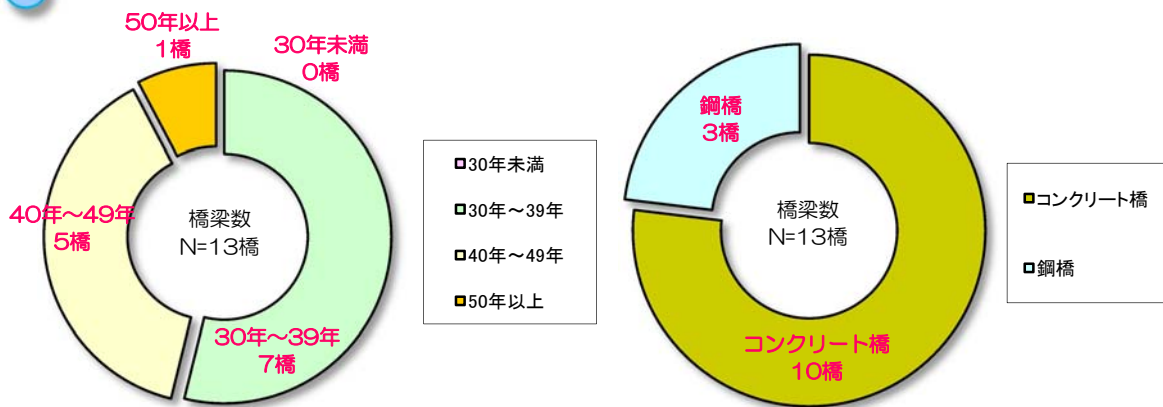


平成28年度 大間町 管理橋梁点検結果

1. 点検実施橋梁

平成 24 年度及び平成 28 年度に橋梁定期点検を実施した橋梁 13 橋の、橋種別等の集計を図-1、2 に示す。

- 1 全ての橋梁が架設後経過年数30年以上の橋梁である。
- 2 橋種は全体の合計でコンクリート橋が10橋、鋼橋が3橋である。
- 3 20年後にはすべての橋が経過年数50年を超える橋となる。



架設後経過年数別の割合

構造形式別の割合

図-1 平成 27 年度点検橋梁の内訳 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

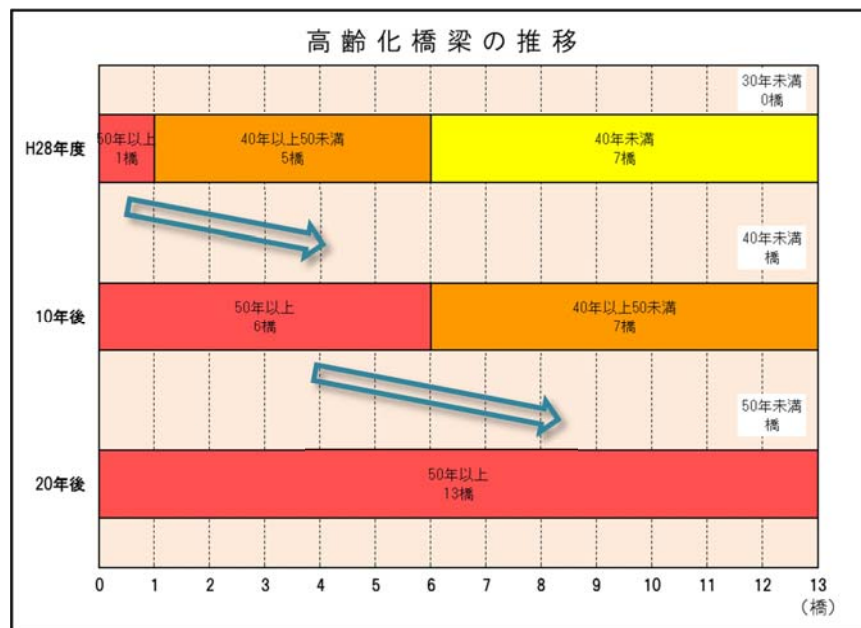


図-2 供用年数の推移

2. 損傷状況

平成28年度に点検を実施した鋼橋3橋の損傷については以下の傾向が見られる。

【 鋼橋の場合 (全3橋) 】・・・

- 1 小川代橋の主要鋼材に、粗いうろこ状の錆が見られた。また、沓座モルタルに損傷が見られた。
- 2 馬鞍沢橋、カヤノ沢橋の支承に腐食が見られた。

(1) 鋼橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下に示す。

NO.	橋種	橋梁名	径間	部材別健全度							備考 最終点検 年月日
				健全度	主桁	横桁	床板	下部工	支承	沓座 モルタル	
1	S	小川代橋	1	平均	2.9	4.0	4.0	3.8	2.5	3.0	平成28年
				最低	2.5	4.0	4.0	3.5	2.5	2.5	
2	S	馬鞍沢橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	2.8	4.0	平成28年
				最低	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	4.0	
3	S	カヤノ沢橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	4.0	平成28年
				最低	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	4.0	

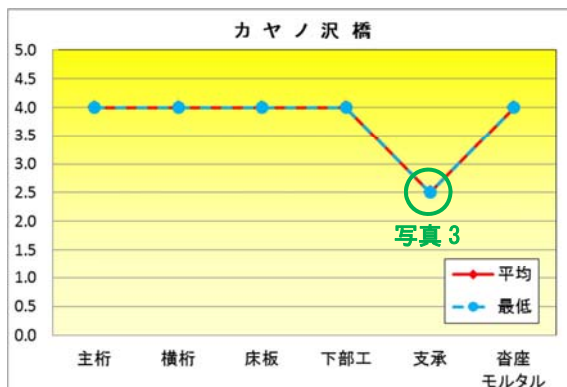
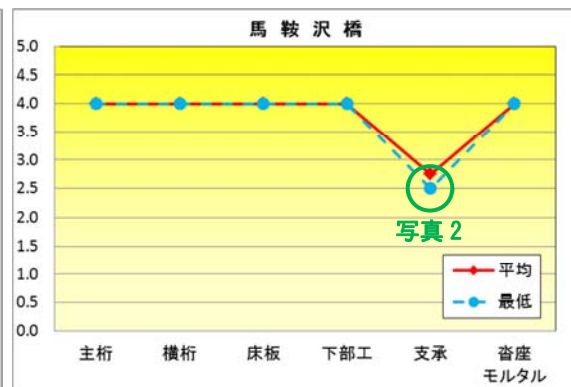
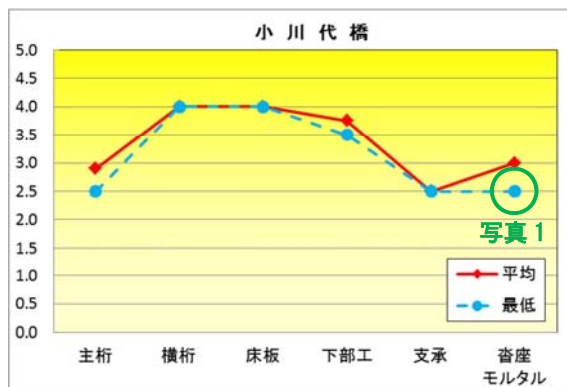


写真1 沓座モルタルの損傷



写真2 支承の損傷



写真3 支承の損傷

平成24年度及び平成28年度に点検を実施したコンクリート橋10橋の損傷については以下の傾向が見られる。

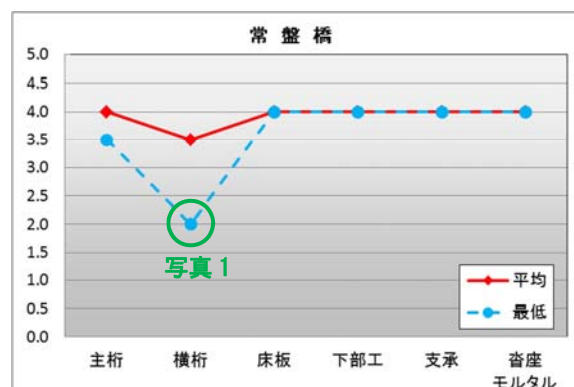
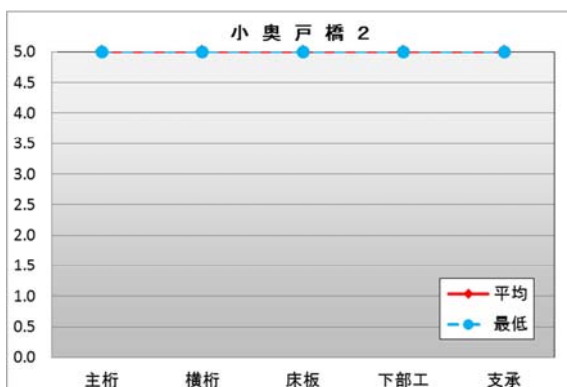
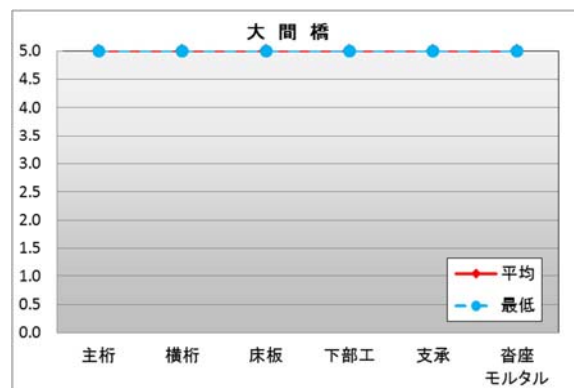
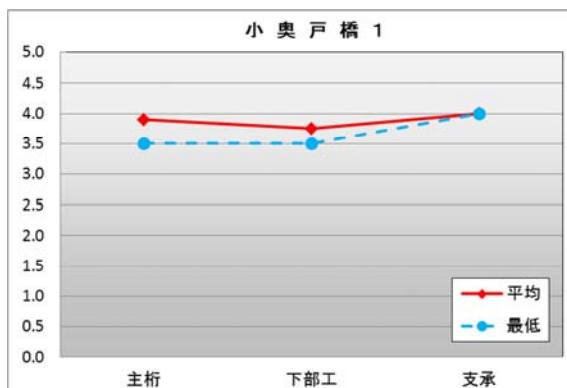
【コンクリート橋の場合（全10橋）】・・・

- 1 大間橋、小奥戸橋2は平成24年に、点検を行った際は健全度が低かったが、大間橋は平成26年に架け替え、小奥戸橋2は補修済である。
- 2 常盤橋の横桁・端横桁に、横締め定着部のコンクリートの露出、定着具の腐食が見られた。
- 3 大栄橋の主桁に欠損、うき、遊離石灰の滲出等の損傷が見られた。
- 4 その他の橋には排水管の欠落、地覆にはく離・鉄筋露出等の損傷が見られた。

(2) コンクリート橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下及び次項以降に示す。

NO.	橋種	橋梁名	径間	部材別健全度						備考	
				健全度	主桁	横桁	床板	下部工	支承		沓座 モルタル
1	C	小奥戸橋1	1	平均	3.9	-	-	3.8	4.0	-	平成24年
				最低	3.5	-	-	3.5	4.0	-	
2	C	大間橋 ※H26 架け替え済	1	平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	平成24年
				最低	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
3	C	小奥戸橋2 ※補修済	1	平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	平成24年
				最低	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	
4	C	常盤橋	1	平均	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	平成28年
				最低	3.5	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
5	C	大栄橋	1	平均	3.8	4.0	4.0	4.0	3.0	-	平成28年
				最低	2.5	4.0	4.0	4.0	3.0	-	
6	C	新生橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	平成28年
				最低	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	
7	C	楓橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	平成28年
				最低	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
8	C	春日橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	平成28年
				最低	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	
9	C	宝来橋	1	平均	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	平成28年
				最低	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	
10	C	新川目橋	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	4.0	-	平成28年
				最低	4.0	-	4.0	4.0	4.0	-	



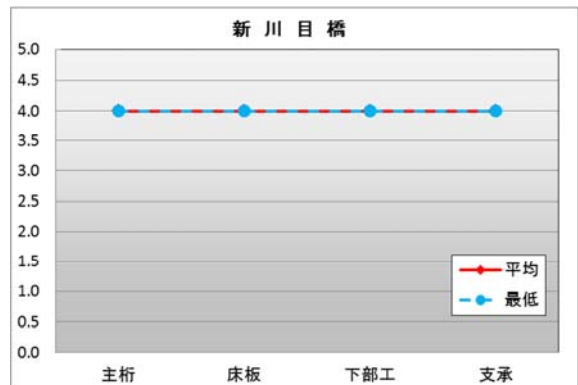
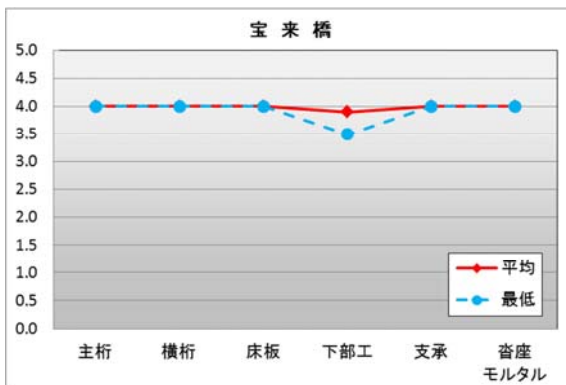
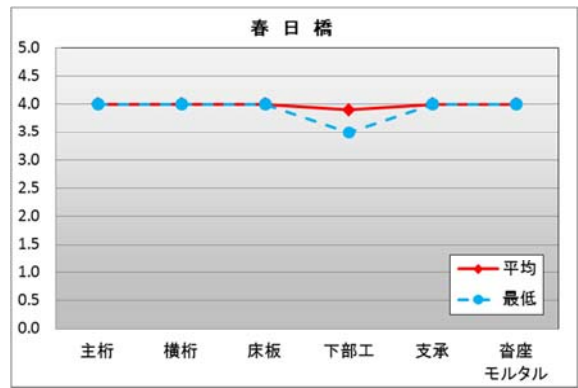
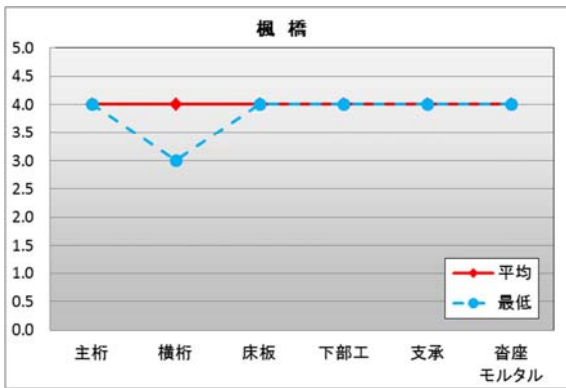
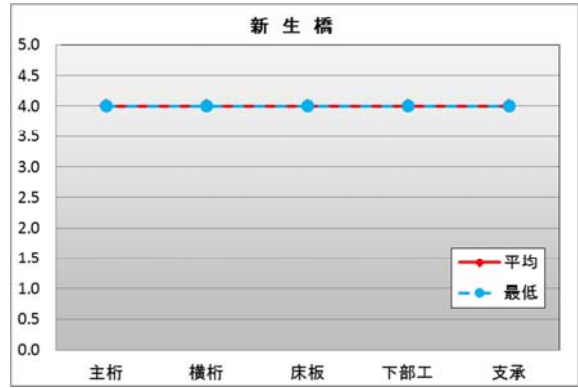
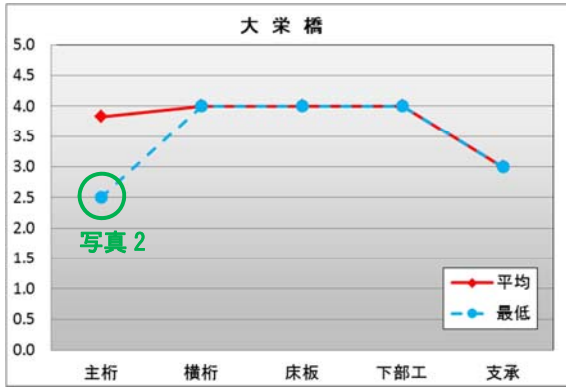


写真1 横桁の損傷



写真2 主桁の損傷

(3) その他部材の劣化状況

点検の結果、その他部材についての進行した劣化状況については以下の通りである。

- 1 小川代橋・・・主桁に粗い錆、うろこ状の錆が見られる。(写真-1)
- 2 馬鞍沢橋・・・下横構に粗い錆が見られる。(写真-2)
- 3 カヤノ沢橋・・・防護柵に錆、ボルトの抜け、汚れが見られる。(写真-3)
- 4 小奥戸橋1・・・防護柵に全体的な腐食が見られる。(写真-4)
- 5 常盤橋・・・排水管が全体的な腐食により欠落している。(写真-5)
- 6 大栄橋・・・地覆にはく離・鉄筋露出が見られる。(写真-6)
- 7 新生橋・・・地覆に欠損が見られる。(写真-7)
- 8 楓橋・・・胸壁背面に段差が見られる。(写真-8)
- 9 春日橋・・・胸壁に欠損、鉄筋露出が見られる。(写真-9)
- 10 宝来橋・・・防護柵が腐食により欠損が見られる。(写真-10)
- 11 新川目橋・・・排水管が欠落している。(写真-11)



写真1 主桁の損傷



写真2 下横構の損傷



写真3 防護柵の損傷



写真4 防護柵の損傷

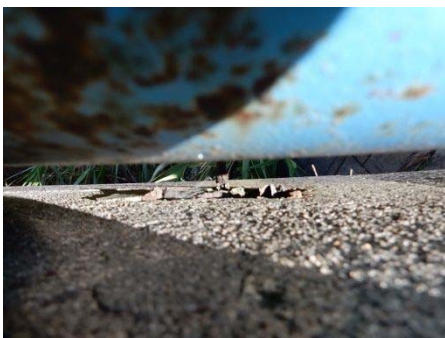


写真5 排水管の損傷



写真6 地覆の損傷



写真7 地覆の損傷



写真8 胸壁の損傷



写真9 胸壁の損傷



写真10 防護柵の損傷



写真11 排水管の損傷

3. 健全度の診断

大間町管轄橋梁全 13 橋における健全度の判定結果を下表に示す。

表-1 健全度診断

橋梁名(フリガナ)		路線名	供用開始 年月日	橋長 (m)	幅員 (m)	点検記録	最終点検 年月日
小川代橋	コウダイバシ	奥戸上町焼畑線	1981年	20.0	4.8	Ⅲ	平成28年
馬鞍沢橋	マガラサワバシ	奥戸大川目線	1967年	25.0	4.7	Ⅲ	平成28年
カヤノ沢橋	カヤノサワバシ	奥戸大川目線	1967年	25.0	4.7	Ⅲ	平成28年
小奥戸橋1	コオコッパシチ	大間奥戸線	1972年	7.0	6.3	Ⅱ	平成24年
大間橋 ※H26 架け替え済	オオマバシ	大間細間垂水線	1935年	9.0	8.2	Ⅰ	平成24年
小奥戸橋2 ※補修済	コオコッパシニ	奥戸小奥戸1号線	1980年	9.0	10.6	Ⅰ	平成24年
常盤橋	トキワバシ	大間奥戸上道線	1983年	9.0	7.3	Ⅲ	平成28年
大栄橋	ダイエイバシ	奥戸材木線	1976年	13.0	5.8	Ⅲ	平成28年
新生橋	シンセイバシ	大間寺道2号線	1980年	9.0	6.2	Ⅰ	平成28年
楓橋	カエデバシ	大間寺道4号線	1981年	8.0	4.7	Ⅰ	平成28年
春日橋	カスガバシ	奥戸川端線	1976年	15.0	3.8	Ⅱ	平成28年
宝来橋	ホウライバシ	奥戸焼畑線	1976年	15.0	3.8	Ⅱ	平成28年
新川目橋	シンカワマバシ	奥戸材木川目線	1985年	12.0	4.8	Ⅰ	平成28年